

☆食中毒が心配な季節です



食中毒予防の3原則！食中毒菌を「つけない」

「増やさない」「やっつける」これはもう皆さんが知っている事です。さて、知識としては知っているけど意識して実践できているか、日頃を振り返って見ませんか。「まあいいか！」は大きな落とし穴です。つい忙しくて(手抜きした、忘れた)これぐらいいいだろう(いつも問題なし)慣れているから(過信)など。食中毒の中でも多いのは、ノロウイルスによるものです。ノロウイルスは感染力が強く潜伏期間：1～2日と短く集団で発生する事が特徴です。冬に多いとされていますが、この5月・6月もホテルでの集団発生が報道されています。日常生活でのちょっとした心がけで感染予防はできます。

- ①肉類、魚を買ったら寄り道しない②すぐに冷蔵庫へ、詰め込みすぎない③十分な加熱④調理後は早めに食べるなど、今一度行動を見直してみましょう。
- そして、同時にバランスの良い食事や睡眠を心がけ免疫力を高めることも大切です。《看護師 国府》

☆虫歯は夜に作られる



6月27日に豊中市の出前講座を利用して歯磨き指導を開催しました。

講師は昨年引き続き、中部保健センターの南野さん(歯科衛生士)に来ていただきました。虫歯になりやすいおやつ・飲み物は？虫歯になりにくいものなど、イラストを使って利用者と一緒に考えました。おやつで虫歯になりにくいおやつを選ぶこと、おやつの時間を決めることは虫歯予防に有効です。また、唾液には虫歯菌をやっつける働きがありますが、夜寝ている間に唾液が少なくなるので虫歯菌が増えやすくなります。そこで夜寝る前の歯磨きは特に重要になります。

みらいでは、ひと声かけることでしっかり磨ける方が増えてきています。《榎川》



七夕飾りを作りました！！

豊中市リサイクル工房 竹炭塾 代表 入江様より七夕の笹を寄贈いただきました。



ありがとうございます。

皆さん笑顔で七夕飾りを作り、短冊に願いを書き笹いっぱい飾りました。

- 空き缶回収売り上げ 4月～6月 31,005円
- カートリッジ回収売り上げ 4月～6月 21,300円相当
- 書き損じはがき 26枚

ご協力ありがとうございました。

職員の異動

5月31日退職 支援員 堀岡 健志

編集担当一同

夏に、暑い夏をかき氷大会や、ゲームで涼しいら、八月十二日に納涼祭を開催します。毎日、猛暑が続いており、熱中症に負けないように、八月十二日に納涼祭を開催します。

編集後記



「暑中お見舞い申しあげます。」

多機能型事業所みらい 管理者 吉田 耕治

今年も厳しい暑さが続いています。日中は35度以上の処も頻発していると。その暑さに拍車をかけているのが、参議院選挙です。衆参ねじれが解消できるかどうかを国民の多くが注目しています。景気回復をはじめ東北復興、原発再稼働、TPPなど多くの課題が山積している中で、政治が少しでもより良い方向に向かってくれることを期待するばかりです。

さて今年度の懸案の一つである、みらいの大規模修繕が約2か月半の工期をかけて終わることができました。平成14年4月に開設して以来11年が経過し、少なからず不具合もあつたようです。

屋上防水、外壁塗装、空調機洗浄、照明器具のLED化など修繕内容は多岐にわたりました。外観の色彩はより鮮やかに、作業室は随分明るくなりましたが、いずれにしても利用者の皆さんが安全に、また安心して活動できる「場」としての一定の整備ができたことを喜びたいと思います。

6月下旬に、大阪知的障害者福祉協会のシンポジウムに参加しました。テーマは「新たな制度設計に向けた障害者サポート体系について」でした。これは障害者総合支援法の今後の具体化に向けて、日本知的障害者福祉協会の政策委員会の提案した内容について意見交換を行うというものでした。大阪の協会が出た意見を集約して、日本知的障害者福祉協会へ要望していこうとするものでした。総合支援法は不完全な形でスタートをし、今後3年間で具体化されようとしています。

障害支援区分の在り方、ケアホームとグループホームの一元化、小規模入所施設の機能など、利用者や事業所にとって密接且つ重要な問題が山積しています。これらがどのように具体化されるのかで、日中事業所の在り方まで変わってくると思います。

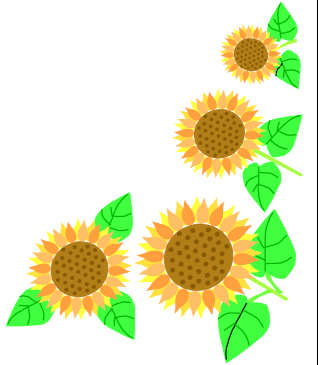
みらいは11年後にリニューアルされましたが、障害者自立支援法も今回のリニューアルで、より素晴らしい障害者総合支援法に生まれ変わることができるかどうか、これからが正念場です。



広報みらい

第29号

編集・発行
社会福祉法人 豊中親和会 多機能型事業所みらい
発行人
吉田 耕治
住所
〒561-0894 豊中勝部2丁目19-3
TEL
06-6858-6697
FAX
06-6858-6698





利用者7名、施設長、スタッフ2名でハーベストの丘に
行って来ました。
天候も良く、とても過ごしやすい1日でした。
利用者の皆さんが長いつり橋を渡るときに揺れ、びっくりさ
れながらも楽しそうにされている方や、怖がっている方も
いました。

また、利用者の中には去年も参加された方がおられ「大自然に囲まれているところが好きで
す。」と話してくれました。

昼食はハムステーキやつけ麺など皆さんそれぞれメニューを選び、美味しそうに食べておら
れました。沢山の動物とふれあったりハーベストの丘で栽培している
野菜などをみたりと楽しい時間になったのではないかと思います。

いきの車では賑やかな笑顔いっぱいだった車内も、帰りは少し
疲れたのか、ほとんどの方が寝ておられる姿をみてスタッフも
一安心し無事みらいに着きました。《松村》



ハーベストの丘
6月7日(金)

グループ外出①

ひらかたパーク
6月14日(金)

生活介護・B型のメンバー14名とスタッフ4名の総勢18名で「ひらパー兄さん」でお馴染
みのひらかたパークに行って来ました。

台風3号の接近で一時は順延も考えたのですが、ラッキーなことに前日に温帯低気圧とな
り、当日はお天気が良いすぎ(酷暑)で、皆さん暑い暑いと挨拶代わりに言うておられました。

4グループに分かれての自由行動でしたが、それぞれお目当てのアトラクション(乗り物)や
イベント『機関車トーマス』の展示物を見て楽しみました。

メンバーのもう一つの楽しみが昼食です。園内の「グランローズ」というレストランで
「ローズ定食」を食べました。

エビフライ・ハンバーグ・サラダにスープといった
メニューに舌鼓を打ち、アトラクションやイベントの
話をしながら、ひと時をすごしました。

楽しい時間もあっという間に過ぎ急いでお土産を
買い帰路に着きました。

帰りのバスでは、熱さで疲れたのか
半分くらいの人はずっと寝ておられました。《新田》



2013/06/14

利用者17名、スタッフ5名で海遊館へ行って来ました。
新しくリニューアルされた海遊館では、北極圏のエリアが新しくなり、
丸く開いた窓からアザラシが愛らしい顔を覗かせ、大きな水槽では
先代のジンベイザメに代わり、半分ほどの子供？が2頭、悠々と
泳いでいました。



車いすで鑑賞される利用者にも、海遊館スタッフが丁寧に対応してくださり、他の利用者もそ
れぞれ写真を撮ったりイルカを追いかけられたり、とても楽しんでおられました。

また、お土産売り場も大きく一つになり「何にしようか？これにしよう！」と、ご自分で
選んで買われ満足げでした。

帰りのバスの中では、少し疲れたのかスースーと
寝息があちこちでしていました。

みらいに到着すると「行ってきたよ、お土産買ってん！」と
嬉しそうに他の利用者の方々に報告されていました。《榊川》



2013/06/28

海遊館

6月28日(金)

グループ外出②

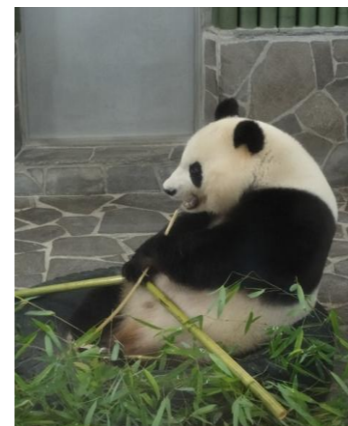
王子動物園
7月5日(金)

王子動物園のグループ外出は6月21日の予定でしたが
生憎の天気で7月5日に延期になってしまいました。

5日も天気は不安でしたが、曇り空ではあったものの
雨には当たらずに済みました。

利用者5人とスタッフ2人という少人数の参加だったので
ちょっとさみしい気もしましたが、和気あいあいと家族のような感じで見学が出来ました。

まず、目玉である『パンダ館』へ。残念ながら、パンダは寝ていて良く見えませんでした。
気を取り直して少し歩くと、屋根とテーブル・イスがある場所があったのでそこでお弁当を
食べました。



その後は、シマウマ・カバ・カンガルー・熊・コアラなどの動物
の見学をし、最後にもう一度「パンダを見よう」ということにな
って再度『パンダ館』へ。すると、ちょうど飼育員さんが餌の
笹を持ってパンダを連れて来てくれたのです！！

みんな目の前でパンダを見れたことに大満足で
帰路に着きました。《金谷》

